



CHARTERED SEPT. 11, 1953

Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO YAMATE

YAMATE YMCA, 2-18-12, NISHIWASEDA, SHINJUKU-KU, TOKYO TEL. 03-3202-0321 FAX.03-3202-0329

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-18-12 山手YMCA内

2016 - 17 会長主題

招かれた者としてふさわしく

あずさ部長	浅羽俊一郎 (東京山手)	「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
東日本区理事	利根川恵子 (川越)	「明日に向かって、今日動こう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	“ Respect Y's Movement ” 「ワイズ運動を尊重しよう」
国際会長	Joan Wilson (カナダ)	“ Our Future Begins Today. ” 「私たちの未来は、今日より始まる」

会長 金本伸二郎 / 副会長 尾内昌吉 / 書記 増野 肇・飯野毅与志 / 会計 中村孝誠
 直前会長 浅羽俊一郎 / ブリテン 功能文夫 / 担当主事 星住秀一

2017年 6月 例会 (評価の月)

と き 6月20日(火) 18:30-20:30
 と ころ 山手センター 101号室

受 付 飯島愛子さん、功能さん
 司 会 尾内さん
 開会点鐘 会 長
 モットー・ワイズソング 一 同
 聖句朗読・祈祷 尾内さん
 ゲスト・ビジター紹介 会 長
 <会 食> 一 同

ハッピーバースデー
 楽しい歌

「今期を振り返り、次期年度に向けて」
 金本現会長、上妻次期会長 挨拶
 会長交代式

ニコニコ 一 同
 報告・連絡事項 各担当
 閉会点鐘 会 長

当番〔1班〕 功能、上妻、尾内、飯島 (愛)

ワイズメンズクラブ モットー

『 強い義務感をもとう
 義務はすべての権利に伴う 』
 “ To acknowledge the duty
 that accompanies every right ”

今月の聖句

求めなさい。そうすれば、与えられる。
 探みなさい。そうすれば、見つかる。
 門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

マタイによる福音書 7章7節

6月 HAPPY BIRTHDAY

上妻清子さん 8日 尾内昌吉さん 14日

5月報告

会員在籍数		16名
例会出席者	メ ン	12名
	メネット	1名
ゲスト・ビジター		1名
会員出席率		75%
ニコニコ	6,974円 (累計 58,190円)	

B F 国内切手 1,650g 外国切手 50g

会費の納入は、会計(中村君)への納入または
 下記銀行口座への振込みをお願いします。
 三菱東京UFJ銀行 高田馬場駅前支店
 普通 3548431 「東京山手ワイズメンズクラブ」



5月例会 報告

5月16日(火) 18:30-20:30

山手センター 101号室

出席者：上妻、浅羽、飯島、飯島(愛)、尾内、
尾内(規)、金本、功能、鈴木田、中村、
増野、星住 12名

ゲスト・ビジター 一名

今回は私(増野)が受付担当なので何とか参加することにした。新宿駅のエスカレーターで転倒して肋骨骨折をして以来、ラッシュアワーの新宿駅が苦手になってしばらく休会していた。久しぶりに参加することができたが、会場の机の並べ方が90度向きを変えていて、会長席が右手に移っていたのが新鮮だった。

4月に山手会館館長になられた宮崎純さんからご挨拶があった。ホテル専門学校校長代理を兼ねておられる。

ハッピーバースデーは5月生れの鈴木田通夫さんと4月生れの増野、功能、尾内規子さん、飯島さんと一緒にお祝いしました。鈴木田さんは、年齢が自分より上の方がおられる中で退会するのは心苦しいがと挨拶、ワイズ歴55年の思い出の一端を語られた。

今回のメインテーマは「山手クラブの進路を語ろう」で、これからの山手クラブについてざっくばらんの話を楽しくしようという企画、机の並べ

方の変更もその環境作りのため、4月ヨルダン会で語られたことも頭に置いて始まった。金本会長と上妻次期会長を中心に、浅羽さんの司会で始められた。自由に話すのには席の順番に話すのが日本人には向いているということで、最初は順番に発言することから始まった。そこで出た発言を略記してみると、

- ・今のままではメンバーは減っていくだろう。
- ・会の案内チラシを作って配るのはどうか。
- ・ホームページを作れないか。
- ・地元の人にもっと入ってもらうことはできないか。
- ・会費を安くする。
- ・会費を必要としない会員以外の参加を増やす。
- ・自由に話せる場があるといい。
- ・山手クラブはセールスポイントがない。例えば「元気」を出すクラブとか、今までやったことのないことをやらなくちゃ。
- ・国際クラブとしての活動をもっとしてみる。
- ・昼間の開催にしたら。
- ・山手センターには昼間開催の空きスペースがなく、他に場所を探す必要がある。
- ・東京ベイサイドクラブは会員が比較的若く土曜あさイチ例会をやっている。
- ・クラブの合併があってもよい。
- ・山手センターを支援するクラブとして作られた山手クラブは継続したい。どうすれば継続できるか。

要するに、一番重要なのは活動の内容であるということになりました。

- 1、地元とどう結びつくか。地元の人が参加していない。地元とつながる活動をすべきだ。
- 2、山手クラブは山手センターを支援するクラブだという意識が必要だ。たんぼぼクラブのリビエ、サンライズクラブの山中湖センターのような意識が必要だ。
- 3、活動内容に皆が求めているものをやるべきだ。YMCAオープンフォーラムでは沢山の人が集まり、熱心に討議した。福島や石巻の活動、健康問題、など魅力的なテーマで活動することだ。
- 4、ワイズの国際性も重要だ。
こんなことが熱心に話し合われたのでした。
(まとめ：増野、功能)

5月ヨルダン会 報告

日時：5月24日（水）18：00-20：30

場所：山手センター

出席：上妻、飯野、尾内、金本、中村、5名
議事

- 1、6月例会 6月20日18：30 上妻次期会長引継式及び次期方針表明
- 2、ヨルダン会 6月28日19：00 決算及び次期予算案提示
- 3、山手クラブ例会 昼間の開催を検討したが、諸般の情勢を考慮し従来通り山手センターで18：30より行うこととした。
- 4、ヨルダン会 7月から第3水曜日13：30より山手センター前の喫茶店を会場とし行うこととし中村さんが交渉する。
- 5、12月例会 第3火曜日18：30よりクリスマス会として実施、ヨルダン会は行わない。
- 6、9月2日 大阪茨木クラブ25周年記念例会
- 7、その他 山手学舎の今後の支援体制、山手コミュニティ委員会の報告あり。

以上



あずさ部第3回アトム評議会 報告

中村孝誠

5月13日（土）11：00～12：30に、あずさ部第3回アトム評議会が山手センター101号室で開催された。

開会式はホストクラブ（東京たんぼぼクラブ）の藤江喜美子氏の司会により順調に進み、次いで小山久恵部書記の司会により議決権者の出席人数39人が確認され、浅羽部長から評議会成立宣言がなされた。浅羽部長の挨拶の後、次期大野部長から3つの議案、次期鳥越会計から1つの議案が提示された。

- 第1号議案・・・2017-18年度あずさ部活動方針案
- 第2号議案・・・2017-18年度あずさ部計上予算案
- 第3号議案・・・2017-18年度あずさ部部会開催日程案
- 第4号議案・・・2017-18年度評議会開催日程案

上記議案に就いて大野部長、鳥越部会計から説明があり、第1号・3号・4号事議案は問題なく承認となったが、第2号議案に就いては未計上の資産もあり1部修正が必要との事で再度検討の上7月15日の部評議会で提示する事となった。

次に報告事項に進み浅羽部長より第3回東日本区役員会報告等がなされ、次いで事業主査より事業活動報告、クラブ会長よりクラブ活動報告がなされ、各クラブとも会員増強及び会員維持の問題で頭を痛めているようである一方、CS活動に工夫を凝らし意欲的に活動されているクラブも見受けられた。

閉会式も恒例通り進み、その後写真撮影でお開きになった。当初65名の出席者を予定していたようだが、2、3名の欠席者が出た様である。



東京たんぼぼYサービスクラブ

15周年記念例会

金本 伸二郎

東京たんぼぼYサービスクラブの15周年記念例会が、5月13日(土)13:30から山手コミュニティセンターで開催された。当日は、北は仙台や石巻から、西は大阪からと31クラブとYMCA関係者など128名が参加し、また、どうしても参加できなかったクラブからはお酒の寄贈等という形で参加された。

第一部の記念式典は、小原史奈子会長の挨拶、開会点鐘に続き、小さな命の種が芽生え育ち地の果てまで枝を張る大樹となると歌う讃美歌を全員で斉唱し開始された。聖書朗読、祈禱、ワイズソングと続き、菅谷東京YMCA総主事、利根川東日本区理事、浅羽あずさ部部長の三氏がそれぞれお祝いの言葉を語られたが、いずれの方も、花のたんぼぼが可憐でありながら、じみちに根を張り綿毛として広がっていく姿になぞらえ、たんぼぼクラブが行っている、リビーへの支援活動やわくわくサロン、石巻・歌の出前といった日常の活動を称賛し、祝いの言葉を述べられた。引き続き本例会の実行委員長・越智京子さんの子息光輝さんの夫人越智美香さんのピアノ演奏とその同僚である相田麻純さんの春夏秋冬、そしてカルメンの歌の演奏(共にプロの演奏家で大学で教鞭をとっておられる)を聞き、参加者はその歌声とピアノ演奏を堪能し、アツという間に1時間の式典は終了した。

第二部の祝会では東京山手、東京西両スポンサークラブ、DBC大阪なかのしまクラブのお祝いの言葉の後、栗本次期東日本区理事の乾杯の発声により懇親、食事に移り、おいしい料理に舌鼓をうちながら、花をテーマにしたビンゴゲームなどで楽しいひと時を過ごした。参加者全員で「たんぼぼ」「YMCAの歌」をうたい、越智京子さんの

閉会の言葉をもって、終了した。

山手クラブからの参加者は、浅羽、上妻、尾内(昌)、尾内(規)、飯島(愛)、功能、中村、金本の8名であった。

.....

YMCAニュース

1. サマーキャンプ・各種スクール 6月より順次受付スタート

山や湖でのサマーキャンプ、日帰りのプールサマースクールのほか、短期水泳、体操、英語、工作など、今夏も山手センターでは約40のプログラム・コースを用意しています。

リーダー会、リーダートレーニングもスタートし、スタッフ、ボランティアリーダー一同、素晴らしい夏休みになるよう、準備を進めています。お知り合いの方をぜひご紹介ください。

2. 水上安全キャンペーン開催

全国のYMCAでは毎夏『水上安全キャンペーン』を開催し、子どもたちに水難事故に遭わないための知識を伝え、また万が一事故に遭ってしまった場合の対処法を広めています。

毎年この季節になると山手センターのプールスタッフは近隣の小学校や幼稚園に授業にでかけ指導をします。6月18日(日)には、山手コミュニティセンターで、着衣泳の講習会も行ないます。ふだんYMCAに通っていないお子さんもお参加いただけます。詳しくはお問合せください。

3. 第15回 会員大会が行われました

5月27日東陽町センターにて会員大会が行われ、大勢の会員の方が参加されました。会員部運営委員候補者の推挙では、新しく5名の方が加わることになりました。

各表彰では、山手センターからボランティアリーダーの久保田美穂さんが表彰され、リーダーを代表してスピーチがありました。今年は会員活動の発表がブース形式で行われ、江戸城ファミリーウォークなど10の紹介がありました。「会員の会員による会員のための大会」のテーマの通り、会員活動がより意識された大会となりました。

4. 日本初の室内温水プール100周年

1917年(大正6年)、東京YMCAが日本初の室内温水プールを建設してから今年で100年になりました。これを記念して山手センターのロビーにも記念パネルが展示してあります。ぜひご覧ください。

ワイズライフ 55 年、退会に際して

鈴木田通夫・祐子

私ども年齢を合わせると 160 歳を超えましたのでここが節目と考え、住まいを変え、ワイズも区切りをつけようと、金本会長に退会の申し出をしましたところ、4 月の例会後に開かれた臨時ヨルダン会で快く承認を頂きました。

顧みますと、1962 年 6 月、故久威智(ひさし たけとも)さん(東京 Y 理事)の引きで旧武蔵野クラブに通夫 28 歳、祐子 23 歳の時、入会しました。1965 年 8 月通夫ニューヨーク滞在の折、北米 YMC A 同盟の主事からカナダのフレデリクトンで開催される第 41 回ワイズ国際大会に参加するよう誘われました。驚いたことに日本区事務所です手続き下さったのが故奈良傳(つたえ)さんで、私を B F 代表にして頂きました。モントリオールの空港で、10 年後、熱海の第 51 回国際大会の I C C (国際大会準備委員会)委員長になられたヨーゲンセンさんから面識のない私に「あなたはワイズメンか」と声をかけられました。日本区の代表は故鈴木謙介さんでご夫妻とあと 4、5 名でした。この大会参加が最後となられたワイズメンズクラブの創始者ポール・アレキサンダーさんを拝顔できたことは私のワイズ人生の宝となりました。

1966 年 9 月、大阪勤務となり、東京 Y 総主事木本茂三郎さんから「君はぜひ大阪クラブへ入りなさい」と紹介状を書いて頂き、大阪クラブに入りました。大阪クラブでは日本にワイズダムを創られた奈良傳さん、草創期に理事をなさった緒方繁之さん、岩越重雄さんらがおられ、ワイズ精神の何たるかを教えて頂きました。

2 年後、東京へ戻る際、名物ワイズ木下百太郎さんが「武蔵野には悪いが、“シン”さんのいる山手に行きなさい」と強く言われ、当時木造の山手会館に恐る恐る訪ねました。奈良信さんとは面識はありませんでしたが、歓迎の便りを頂きました。それから 49 年間、東京山手クラブにご厄介になった次第です。山手に在籍中、30 歳の後半から 40 歳代にかけて私のワイズライフのハイライトでした。

クラブ、部(南東部)、区(日本区)、アジア地域、熱海国際大会で少々ご奉仕させて頂きました。何を、というより、その際にご一緒頂き親しくご指導頂いたあまたのワイズメンの方々に心に深く感謝しております。また、祐子もワイズ

メネット会に関わり、多くのワイズメネットの方々と親しくして頂き、感謝しております。

さて、昨年 8 月、許可を得て老人ホーム(ケアハウス、定員 60 名)に入居しました。早速、6 名の世話役に選ばれ、楽しく過ごしております。

ワイズについては、温かく感謝に満ちた思い出を心の中に大切にし、これからの人生を歩みたいと思っております。

ワイズの皆様また Y 愛の心を生んで下さった Y の主事の皆様、ありがとうございました。

.....

感謝

鈴木田さんは 1968 年に山手クラブに転入会、1971 年に会長、1973 年には奈良信日本区理事のもとで区会計、1976 年には南東部長、1977 年にエルマー・クロウ賞受賞、1992 年に 2 度目の会長、2011 年に 3 度目の会長をされました。

また祐子さんはメネットとして活躍、1981 年にはメネット事業主査をされました。2002 年に山手クラブに入会、2007 年に会長をされました。また例会で楽しい歌の指導をしていただきました。

楽しい思い出をたくさん残していただきありがとうございました。

どうぞこれからもお元気で。そして、機会があればいつでも山手にいらしてください。

.....

おたより

<青鹿博明さん> 1 年間ガンバります。

<上妻英夫さん> 「山萌ゆる山荘周りに山桜」東西主峰は真白の残雪、ようやく近くの花々が芽が出てきた。そして山桜が一際目立って見えてくる。

<浅羽俊一郎さん> 有意義な語らいの場になりますように！！

<増野 肇さん> 自信ないけれど、先月休んだし受付の仕事もあるし何とか努力してみます。夜のラッシュを避ける方法を考えてみます。